



やっと会えたね

コロナ禍ですっとあきらめていた
デイサービスのご利用者様と園児さんとの交流が復活しました！
つくしんぼ保育園園庭のベンチに座り
「かわいい！」「かわいい！」と手を
差し伸べるご利用者様たち。
おばあさんたちを「あれ？」と思いつつも受け入れてくれた園児さんたちに
感謝感謝です。
また来るね！たんぽぽさんにも行かせてね！



たんぽぽ新聞

2023年度号



ここで おべんとう
たべたんだ～



ここみてね コーナー

お迎えに来たおうちの方に、こども達から、
保育園での出来事をお話をしたくなるきっかけになる
物になったらいいなと願い作成しています。
「ここみてね」が、子どもとおうちの方と保育園と、
みんなでつながれるツールになるといいな!

※『ここみてね』のコーナーは、玄関正面の柱に設置しました。ぜひご覧ください。

ポートフォリオ の取り組みについて

みんなで作る みんなの保育園 ～ こどもを真ん中に ～

たんぽぽ保育園で過ごすこども達が、今どんなことに目を輝かせているのか・乗り越えようとしているのか・楽しんでいるのか…など、今の目の前のこども達の姿を写真やエピソードで記録したものをファイリングしていく「ポートフォリオ」の取り組みをはじめました。

ポートフォリオは、こども達の手の届く場所に保管し、こども自身が見ることで自分を振り返ったりする姿が見られるのかな?と思っています。こども達のありのままの姿を記録に残すことで、一人一人のこどもの育ちを、周りにいる大人たちが共有し保護者と保育士が子どもを真ん中に繋がっていきたいと考えています。そして、卒園する時には、一人一人の「〇〇さんものがたりBOOK」としてプレゼントします。今はもちろんですが、少し大きくなった時に、「こうやって大きくなってきたんだな～」「周りの人は、自分のことを、こんなふうに見つめてくれていたんだな～」と感じられるような物になってくれるといいなと願っています。

保育者の
視点・思い
記入欄



家庭からの
コメント欄

自分の!と分かる
ように、おうちの方と
一緒に表紙を作成して
もらいました!



たんぽぽのこどもたち

『なんだかおもしろそうぞぞ〜！』



歌や踊り、絵本などが大好きなばあ組ちゃん達。みんなのリクエストではらぺこあおむしの大型絵本を読み聞かせすることに。最後のチョウチョが描かれている場面がみんなのお気に入りです。いつも「きゃ〜」と大喜びで屈伸したり、両手をパタパタ上下に動かしてチョウチョになってみたり色々な方法で絵本を楽しんでいました。絵本を読み終えて…

保育士が「チョウチョ〜チョウチョ〜なのはにとまれ〜」と歌いながら両手に布を持ちひらひらさせながら走り回ると、Zくん(1歳10か月)も同じ布を手に持ち保育士のまねっこをはじめました。Zくんが続く様にKちゃん(1歳10か月)・Mちゃん(1歳10か月)・Iくん(1歳9か月)も“楽しそう！！”と感じたようで、同じ布を持ってきてひらひらさせながら走り回り始めました。走った勢いで廊下へ出ると真っ先に向かったのは給食室！！「キャハハ〜」とチョウチョになりきるみんなに給食先生から「かわいいね〜」と沢山褒めてもらいニコニコ得意げな笑顔でした。

日常のいろんなコトや周りのヒトに憧れを膨らめながら生活している子ども達。大人はもちろん、お友達のやっている楽しそうな雰囲気を感じ、“友達と一緒に楽しい”を感じはじめています。

『給食室をもっと身近に』



たんぽぽ保育園の給食室は、新園舎建替え時に、玄関を入ってすぐの場所に設置してもらいました。登園時、降園時に保護者の方と子どもが給食室の前を通るので、「おはようございます」「いってらっしゃい」「おかえりなさい」顔を見てあいさつができるようになりました。

また、給食室のカウンター、出入口の扉をガラス戸にしてもらい、園庭を見ながら調理ができるので、「1歳さん、おさんぽにでかけたね。帰りが遅いかな?」「今日は、お天気が良くて、みんな園庭で遊んでいるから、サラダは冷蔵庫で冷たくしておこうか。」など子どもたちの様子を見ながら、給食を作れるようになりました。

「給食室をもっと身近に感じてもらえたら」という思いと、「家では食べないけど、保育園では食べたって聞いたので、レシピを教えてください」との保護者の方の声があり、給食室のカウンター前にレシピカードを置いて「ご自由にお持ち帰りください。」「リクエストがあったら書いてお入れください。」のコーナーを作りました。

設置後、何通かのリクエストをいただきました。そのレシピを渡すと「昨日、家でもまねして作ったら、よく食べました。」「ぼくの食べたいって言っていたの作ってくれたの!？」と喜んでくれました。」と声をいただき、たんぽぽ保育園の給食が家庭にも繋がってくれたことに喜びを感じています。



レシピポケット

たんぽぽお助け隊大募集！！

朝：月曜日～金曜日 7：30～7：55
夕：木～金曜日 16：00～18：00



交通整理のボランティアをやっていただける方を募集しています！※詳しくは054-263-0229までお問い合わせください。



ハレハレ

つくしんぼ保育園も2015年に開園して8年が経ち、保育の中では“つくしんぼならではの文化”も生まれてきています！その一つが“みんなきいて～！”のつくしんぼ文化！一人の思いをみんなで受け止める…子どもからも大人からも“みんなきいて～！”の音があちこちから聞こえてくるつくしんぼです♪

0才児おつきちゃん



お昼寝後…
あとから起きた
SくんがUちゃん
の姿を見て
「えっえっ！」
と声を出すと、
Uちゃんも
「えへっ♪」と
2人でお話☺
どんなお話
してたのかな？

1才児ももんちゃん



食べること大好き
のももんちゃん！
食材に興味が出て
きていて……
給食先生に調理前
のだいこんを見せ
てもらったよ👀
ここが“だいこん
の葉っぱ”か～…！



うちのクラスのこと…『みんなきいて～！』

たてわりのおうち

Kちゃんが「カッパに
きゅうりをあげたい！」
と言ったことからきゅうり
の苗を植えて育てた
101ちゃんのおうち🌸
ポツポツの痛さに驚きなが
らみんなで収穫し、もぎた
てをみんなで食べたよ～！



ごっこ遊びだ～い好きのおいものおうち♡
レストランごっこにお店屋さんごっこ、
病院ごっこに……忍者ごっこ！！
初めは数人で始まったごっこも“楽しい”が
どんどん広がっていているよ🎵



大好きなお友達と一緒に
ご飯を食べたい……！
「じゃあ…あそこの
丸い机で食べよう！」
「お姉ちゃんたち、
僕もいーねーて～♪」
お友達と一緒にやっぱり
嬉しくて楽しい
てぶくろのおうち♡



「あまーい」
「おいしい！」
「ほっぺが
落ちそう♡」



子どもたちが
保育士になって
手遊び中～🎵
自分たちで考えた
オリジナル手遊び
もとってもおもしろ
いねこのおうち
です～！👏



実践記録

2022年度（開園7年目）異年齢保育で過ごす子どもたち。異年齢保育をつくしんぼ保育園が実践している理由を、改めて考える実践になりました。異年齢の中で、子どもたちはいろんな価値観の中で、子どもの世界をちゃんと創っています。

異年齢の中で受け止められたGくんの物語

Gくんはおしゃべりが大好きな男の子です。少し理屈っぽいところや、知識を取り込むことが大好きなため、難しい言葉を使うGくんは、大人とのコミュニケーションはうまく取れるのですが、子ども同士ではぎくしゃく感がありました。伝わっているのか？子ども同士の関係は創れているのか？安心した仲間づくりがしたい！そんな願いを持ちながら、今一度、子どもたちの声に耳を傾けてみることにしました。

「3才児Mちゃんにたっぷり褒めてもらうG」

Gは「非常用エレベーター」をブロックで作りました。かなりの大作です。誰が見ても「お〜」と思う作品なのですがどう誉めていいのかわからないでいると、3才児のMちゃんは「すごい」「すごい」を連発し、「いいじゃん」「かっこいい」とありったけの言葉でストレートにほめてくれました。Gはとっても心地よかったらしく、非常用のエレベーターを作る度、Mに報告し、Mはずっと褒めてくれました。とても素敵な関係だな…保育士の自分にはできなかったけど、3才児のMちゃんはそれができる。子ども同士で受け止められるってとても心地よい世界なんだと改めて、子どもたちの世界ってすごいなと思いました。



「4才児とたっぷりごっこ遊び」

ごっこ遊びはだれとでも、年齢関係なく楽しめます。子どもたちはごっこの世界という独特の世界観の中で自分たちが思い描く世界をどんどん創っていきます。

その日もGはRとKとともに「ピザ屋」ごっこを展開していました。はじめはお客さんとお店屋さんのやり取りでしたが、急にGは「どろぼうになる」と言い出したのです。ここは様子を見ようと、こっそり見ていると…なんと店主が寝ている間にお金をレジから盗むというごっこが成立しているではありませんか！！それからいろいろなシチュエーションで、店主が死んじゃうごっこだったり、救急車で運ぶごっこだったり、途切れることなくごっこの世界観を継続して、楽しんでいる姿がありました。



「鬼をたおして、みんなを守る！！そして僕は小学生になる！！」

一大イベントの節分がやってきます。節分の鬼たちは「負けたら、このまま冬にしてつくしんぼ保育園には春は訪れない」って困った。鬼は怖くて倒せない。でもこのまま冬のままだと小学生になれない。Gは葛藤します。ふんざりがつかないGは、「おにが怖いから保育園を休みたい」というと、4才児のRが「おうちで一人であるよりもみんなといの方がいいんじゃない？」と。5才児Mは「みんなで力を合わせておにを倒そうよ」とGに伝えます。Gは節分当日保育園に来ることは納得。でもやっぱり怖い。「前に並ぶのは怖いから後ろでもいいですか？」とみんなに聞くと、みんなは「いいよ」と答えてくれました。

しかし、いざ本番！！怖い気持ちはGだけではありません。みんな尻込みする中で、Gも動けません。しかしこ一番強いMちゃんが「エルマー（5才児）みんなでおにを倒そう！みんなで頑張ろう！」とGに働きかけると、Gはしばらく考えて…。

決意！！「おにを追い払って一年生になりたいから頑張る！みんなと追い払いたい！」

Gの気持ちの変化を私たちも見届けました。才児関係なく、たっぷりみんなと過ごしてきた心地よい仲間集団。その中で、自分だけの気持ちではなく、みんなのためにも思いを巡らせたGくんの育ちに、私たちも涙しました。



子どもたちにもう1人の保育士を

～70年以上変わらない、保育士配置基準を考える～

これまで、署名活動や保育運動の中で、配置基準の見直しはずっと言い続けてきました。その声が、ようやく国へ届き、4才5才の配置基準が見直されようとしています。が、それは配置基準の見直しではなくて、加算措置という形です。30人对1人というのは大変だから、25人对1人の加算措置を国は考えています。しかし私たちは、子ども一人一人の声を聴いて、丁寧にかかわっていきたいのです。見直しは大きな運動の成果と言えますが、引き続き保育の大切さを国に伝えていきたいです。

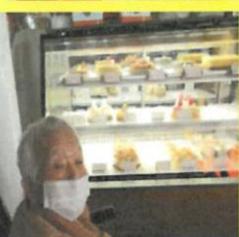




収穫の初夏



福寿草には、小さな庭があります。「猫の額」ほどのその庭に多種多様の植物が育っています。昨年「芽が出ちゃったジャガイモ」を埋めておいたプランターから茎が伸びてきました。ご利用者様は、長年畑をやってきた農業のプロフェッショナル。ご指導のもと、肥料をやり、土をかけ、葉がしおれてきたところで掘ってみると・・・まあ！店先に並んでいるような大きなお芋がゴロゴロと！その日のお昼に、皆様のご希望で「ふかしいも」にさせていただきました。美味しかった～♪次の収穫は何か？体操しながら、レクリエーションしながら、窓の外の野菜たちが気になるこのごろです。



【悲劇の西瓜】皆で「スイカ割しようね」って楽しみにしていたのに…直径13cmで爆発。ちゃんと赤くなっていました。次こそは！



お出かけ・誕生日・七夕…楽しい日々が載せきれない！

